令和６年度

立江小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

〇基礎基本の定着とそれを活用する力の育成

〇学びを生活につなぎ，主体的に学習に向かう児童の育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
横山利恵（教諭）	校長：高原俊英　教頭：稼勢浩子 教務主任：森本千寿子

校長

高原　俊英　印

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等，様々な機会を捉え，取組状況の把握を行う。

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み，学力の向上を推進

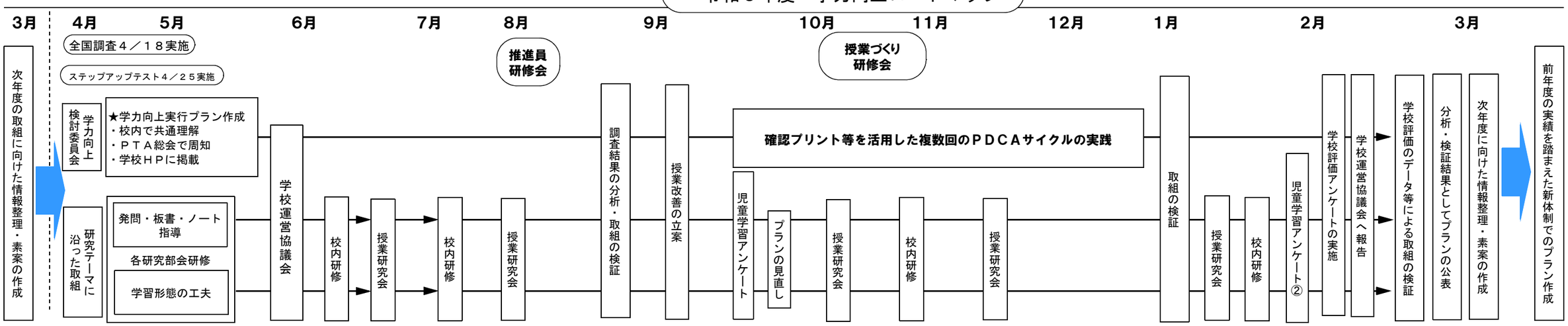
（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇基礎的・基本的な知識技能は，定着している。 ●スキルアップタイムで長文読解の問題に取り組んできた結果，読解力が身についた児童が増えてきたが，身についていない児童との二極化が顕著になった。	・単元テストや漢字テストで，クラス平均８５点以上取ることができる。 ・「長文読解」や「書く」問題の意図をつかみ，取り組むことができる。	・間違えた問題を確認し，定着を図る。 ・スキルアップタイムなどで，「要約」「長文読解」など一つの学習課題を繰り返し連続して行う。 ・新聞を活用した学習の時間（ NIE タイム）を充実させる。 ・個に応じた授業を工夫する。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇自分の考えや思いを表現できる児童が増えてきた。 ●当てられると発表するが，自分から積極的に発表できる児童は少ない。 ●家庭でのアンケートでは６１％が「読書をしていない」という結果だった。	・自分の気持ちや考えを伝え合う楽しさを実感し，進んで発表できる。 ・週に1時間以上読書をする。	・２人組・グループなど少人数から伝え合う場面を授業に取り入れる。 ・自分の考えを伝え合う楽しさを実感できる授業を工夫する。 ・何でも言い合える学級づくりをする。 ・週末読書や，読書の良さを学年だよりなどで伝える取り組みをする。 ・市立図書館と連携する。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇与えられた課題に真面目に取り組み，できるまで努力することができる。 ●自分から課題を見つけ，よりよくしようとする能動性・主体性が弱い。	・自主勉ノートを仕上げていく過程を通して，学ぶ楽しさを実感する。 ・生活面・学習面で，主体的に活動することができる。	・楽しい授業，熱中できる授業を工夫する。 ・掲示板等で，工夫している自主勉ノートのモデルを示す。 ・地域の人材を活用するなどして，多様な学びができるようにする。 ・縦割り班活動や係活動で主体的に活動できる場をつくる。			

令和６年度　学力向上ロードマップ